

平成26年度 大学の世界展開力強化事業 審査結果表

大 学 名	北陸先端科学技術大学院大学	主たる交流先の 相手国	インド
構 想 名	インド等の海外で活躍できる知的にたくましい先導的科学者・技術者の育成		

〔評価コメント〕

本構想は、インドで求められている人材と日本企業が求める人材の整合性に焦点を当て、先導的科学者・技術者を育成するという明確なビジョンを持ち、インドの3大学と短期交流からダブル・ディグリー・プログラムまでの多彩な枠組みで協働教育プログラムを構築し、現地企業におけるインターンシップなどの幅広い経験を通じて、産業構造や社会の変化を的確に捉えて対応する能力を会得し、日印両国の架け橋となるリーダーの育成を目的としている。

既にデリー大学との間で実績のあるダブル・ディグリー・プログラムからジョイント・ディグリー・プログラムへの展開を目指した意欲的な取組であり、その展開に当たっても、ソフト面では構想の推進のために有効な「極めて高い外国人教員比率と留学生比率」を活かした準備がなされ、ハード面では理工系の大学院大学として最先端機器が整えられており、着実かつ意欲的な計画として高く評価できる。また、インドからの留学生数が国内トップクラスという実績を通じて築かれた受入学生に対する支援体制を考慮すると、本事業の趣旨に合う成果を上げることが期待できる。

一方で、日本人学生の留学意欲を促進する方策が十分に示されているとは言い難く、プログラムを始めるに当たり、海外留学にインセンティブを与える具体的な方策について更なる検討が望まれる。

最後に、今回「大学の世界展開力強化事業」に採択された貴学におかれては、将来の日印関係を見据え、インドとの間の架け橋となるリーダー人材の育成に中心となって取り組む拠点大学であるということの意義とその責任、期待の重さを認識し、構想内容の実現に向け真摯に取り組まれることを強く要請する。